

## 大阪私学ネット 第59回授業公開キャラバン資料

### 日時と場所

京都橘高等学校 コンピュータ教室

2008年11月14日

5時間目(13:20-14:05) 1-2 担当:長谷川

6時間目(14:15-15:00) 1-8 担当:山本

### 年間授業概要(全クラス共通)

テーマ「人間中心の情報学」

人間は情報をどのように扱っているのか

そして、それがコンピュータやインターネットによりどのように変わるのか

#### 1年

1学期 コンピュータ基礎 見る

2学期 「聞く」 「読む」

3学期 情報モラル 「書く」

#### 2年

1学期 「見せる」 「話す」

2学期 情報の整理

3学期 総合演習

### 公開授業の範囲

公開授業は単元「読む」の3日目と5日目である。

1日目 問題提起(ニュースは事実を伝えているか ニュースの内容はどれも同じか)

ブラウザ設定 manab 設定

2日目 ニュースは事実を伝えているか

「妊婦病院拒否事件」の通常の記事と社説の比較

**3日目** ニュースの内容はどれも同じか(1)

テーマ : どのメディアも同じ出来事を報道しているか。

内容 : 「集団自決判決」に関する朝日と読売の社説の比較

4日目 (続き)

**5日目** ニュースの内容はどれも同じか(2)

テーマ : 同じ出来事に対するニュースにおいて、その記事の内容表現は同じか。

内容 : AJE・FOX・NHK の2008年8月の国際記事の比較

6日目 (続き)

情報A ( ) 学習指導案

平成 20 年 11 月 14 日

指導者：山本浩史

1. 単元名：「ニュースの内容はどれも同じか(1)」

2. 留意点

今回は新聞記事を読むことが中心の授業なので、生徒たちの集中力を途切れさせないように、テンポよく話を進めていきたい。また、授業中に Google スプレッドシートを利用して生徒からアンケートをとるが、同じフォームを何度か利用するので、その都度、選択する項目に間違いがないかを確認させていかなくてはならない。

3. 本時の展開

ねらい：ニュースに書かれている事実は一部であることを理解する。

事実のどの部分が書かれているかによって、記事の理解は大きく異なるので、しっかり文章を読むこと、また複数の記事を読み情報を得ることが必要であることを理解する。

方法：2種類の同じ出来事の記事を様々な時間の区切り方を指定して読み比べ、同じ出来事に関する記事において、その中身は同じものかどうかを比較する。

(今回は読売新聞と朝日新聞の社説を利用する。)

	学習内容	指導上の留意点
復習と導入 (10分程度)	前回の復習  集団自決・沖縄ノートについての説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>2週間ぶりの授業となるので、前回の復習をし、今回の授業へつなげる。</li> <li>社説を読む前に、記事に書かれている事柄の説明を簡単に行う。生徒らに沖縄であった集団自決と日本軍との関係、それについて書かれた「沖縄ノート」に対して、日本軍の遺族らが名誉毀損を訴え裁判に発展した流れを理解させる。 (集団自決跡地の石碑や、大江健三郎の写真、また、『沖縄ノート』を見せてイメージを膨らませる。)</li> </ul>
展開 (30分)	「ニュースの内容はみんな同じか」  社説を読む	<p>「同じ出来事に関する記事において、その中身は同じか」ということについて考えてみる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝日新聞と読売新聞の社説を配布する 2社の記事を一度に全員に配布するのではなく、</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社説を読む前  (アンケート実施1)</li> <li>・ 3秒間読む  (アンケート実施2)</li> <li>・ 30秒間読む  (アンケート実施3)</li> <li>・ 3分間読む  (アンケート実施4)</li> <li>・ 比較した後 (アンケート実施5)</li> </ul>	<p>クラスを半分に分け、一方には読売新聞の社説、もう一方には朝日新聞の社説を読ませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沖縄での集団自決は日本軍の強制だったと思うか、そうとは思わないかを問う。</li> <li>・ 次の5つの時点に分けて読んでいく。また、一つの質問が終わる度にアンケートを実施する。</li> <li>・ 何の情報も得ていない状態で(自分の知識だけで)判断し、日本軍が集団自決を命令したか否かについて生徒各自の考えを聞く。 この時点ではまだプリントは読ませない</li> <li>・ 3秒間だけ配られたプリントを読む。生徒はおそらくどこを読めば良いか探すだけで、3秒が終わってしまうと思われる。よって、ここでは新聞記事の見出しに注意を払うように指示しておく。</li> <li>・ 記事全体をさっと流し読みする。時間が短いのですべてに目を通すことはできないかもしれない。すべて読めなくてもかまわないことを伝えておく。  「新聞記事を全員に配布」</li> <li>・ 記事全部を、時間をかけてしっかり読む。 (時間にゆとりがあれば4分ぐらいに増やす。)</li> <li>・ 全員に2社の社説を配布し、しっかりと読ませる。 (3分～4分程度)</li> <li>・ 最初に読んだ記事と比べた上で、日本軍が集団自決を強制したか否かについて回答する。  アンケートの結果をグラフ化し提示する</li> </ul>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>今回の授業のまとめ (アンケートの結果から)</p> <p>次回の授業について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一つの情報だけを取り入れるのでは、信憑性に欠けることがある。同じ出来事に関する記事でも、その中身は全く同じとは限らない。それゆえ、しっかり文章を読むこと、また記事を読み比べることが必要となる。</li> <li>・ 今回利用した2社の社説を、より深く読み解いていく。</li> </ul>

## 公開授業 指導案

ニュースの内容はどれも同じか(2) ~ AJE・FOX・NHK の記事を読み比べる ~

・日時	2008年11月14日(金)
	5時間目(13:20-14:05)
・場所	京都橘高校 コンピュータ教室
・教科科目	情報A
・担当者	長谷川卓也

### 1 目的

どのメディアにおいても、同じ出来事を報道しているのか、それとも異なる出来事を報道しているのか。異なるのであればどのような違いがあるのかについて調べる。授業を通して、メディアにバイアスが存在することを感じさせる。そして、メディアを批判的に読み解く態度を身に付けさせる。

主な目的は上記の通りであるが、「世界に目を向けさせる」「英語を実践的なものとして意識させる」などのねらいもある。海外のメディアやニュースのカテゴリを選んだのはそのためである。

### 2 方法

授業では下の3つのメディア([ ]内はカテゴリ名)のニュースを取り上げる。いずれのメディア(放送局)もニュースをWeb(上段のURL)で配信している。またRSS(下段のURL)も配信しており、予めRSSから2008年8月分の記事(タイトルとリード文)を取得し、その和訳を宿題として生徒に課している。

- ・ Al Jazeera English 本社 カタール  
<http://english.aljazeera.net/>  
<http://english.aljazeera.net/Services/Rss/?PostingId=2007731105943979989>
- ・ FOXNews.com[World] 本社 アメリカ  
<http://www.foxnews.com/world/index.html>  
<http://www.foxnews.com/xmlfeed/rss/0,4313,81,00.rss>
- ・ NHK ニュース[国際] 本拠 日本  
<http://www3.nhk.or.jp/news/>  
<http://www3.nhk.or.jp/rss/news/cat6.xml>

記事のタイトルとリード文から得られる情報を元に、それぞれのメディアの傾向を分析し、比較する。ただし、AJE、FOXの記事の原文は英文であり、その内容を正確に理解することは困難である。また記事数(順に568件、475件、441件)も多く、量的にも生徒への負担は大きい。そこで今回は原則として記事の当事国にのみ着目する。メディアごとに、どこの国の記事が多いのか、または少ないのかを調べ比較する。

### 3 授業の流れ

導入 (5分)	前回の復習	・ニュースには事実の記述と意見の記述があることを確認
	問題提起	・「ニュースは同じか」という問を細分化し、再度提起する。 どのメディアも同じ出来事を報道の対象としているか。 同じ出来事に対する記事の場合に、記事の内容表現は同じか。 今回と次回は について考えることを伝える。
展開 (35分)	3つのメディアの確認 (7分)  <u>メディアの実体に対するイメージを持たせる</u>	・各メディアの Web サイト(AJE はアラビア語サイトも)を見させる。  ・アラビア語の放送を聞かせる。  ・カタールの位置を Google マップで説明。  ・各メディアのポイントをまとめさせる。 「AJE」 カタール 中東発 「もう一つの…」 「FOX」 アメリカ メディア王マードック 「NHK」 日本 公共放送
	課題の概要説明 (3分)	・プリント(国別統計資料・世界地図・記録用紙)を配布  ・調べる内容は、各メディアがどこの国の出来事を報道し、またどこの国の出来事を報道していないのか。その傾向を分析し、最終的にはレポートを提出することを伝える。
	集計作業 (25分) 時間内で終わらない場合は次回続きを行なう	・記事数が多いので、班で協力して集計作業を行う。作業方法や分担は生徒に任せる。 ・記録用紙に国名と「正」の字を書かせる。 ・途中で質問の時間をとる。生徒の作業の様子を見て回り、問題点やよい方法などがあれば全体に知らせる。 ・時間に余裕があるようであれば、世界地図の該当国に
まとめ (5分)	反省	・授業を振り返ってコメント
	次回予告	・次回の授業概要(集計の続きとレポート作成)を説明  ・レポート作成について 必要事項 グラフの作成 世界地図の色分け 国の傾向分析 その他(できれば) 記事内容(分野)の分析 国の諸データとの関係(統計資料を用いた分析)